

オレンシア®皮下注125mgオートインジェクター1mLを
ご使用の患者さんへ

注入補助具「オレンジポート」を使用した 自己注射手順ガイドブック



オレンジポートを使用した自己注射のしかたについては、
動画でもご確認いただけます。

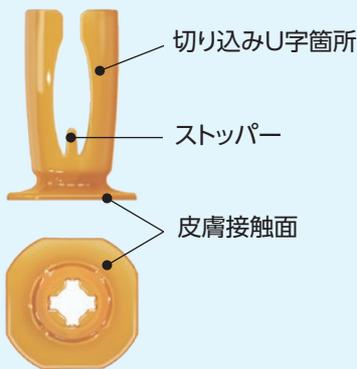
2次元バーコードをスマートフォンなどで
読み取り、動画を視聴ください*。

*本動画サイトへのアクセスには別途通信料が発生いたします。



オレンジポートを利用した自己注射手順ガイド

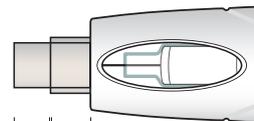
補助具の各部名称と説明



①オートインジェクターの針キャップを外します。



針キャップを外したときのオートインジェクター先端部分拡大図

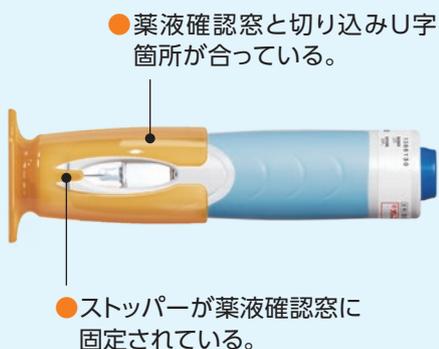


2段目1段目
安全カバー

針キャップを外すと、安全カバーが2段出ています。

片手でオートインジェクター本体中央部を持ち、もう一方の手で針キャップを**まっすぐ引いて**、取り外してください。一度キャップを外すと、再度キャップをすることはできません。

装着完了図 (注射前)

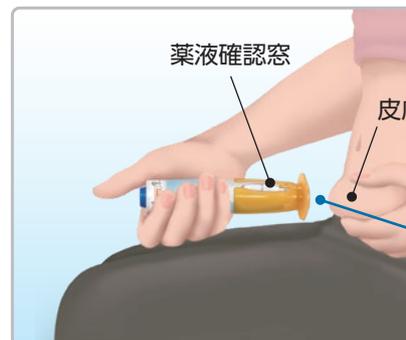


③消毒します。



アルコール綿で注射する場所とそのまわりを広めに消毒します。

④注射部位を軽くつまみ確認窓が見えるように補助具を持ちます。



薬液確認窓が見えるように持ち、本体ほうの手で消毒した皮膚を軽くつまみ補助具の皮膚接触面を注射部位に対して押し当てます。

●オートインジェクター本体と補助具と一緒に注射部位から離すと、安全カバーが1段目しか解除されることがあります。

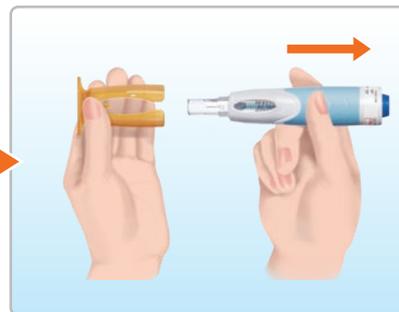
⑦オートインジェクターを注射部位から離します。



15秒経ち、紺色の部分の動きが止まっていることを確認した後、注射部位からオートインジェクターをまっすぐに離すと、ストッパーが外れて安全カバーが伸び、針は自動的に格納されます。注射部位は、アルコール綿で10秒程度軽く押さえてください。血が止まりにくい場合は長めに押さえてください。

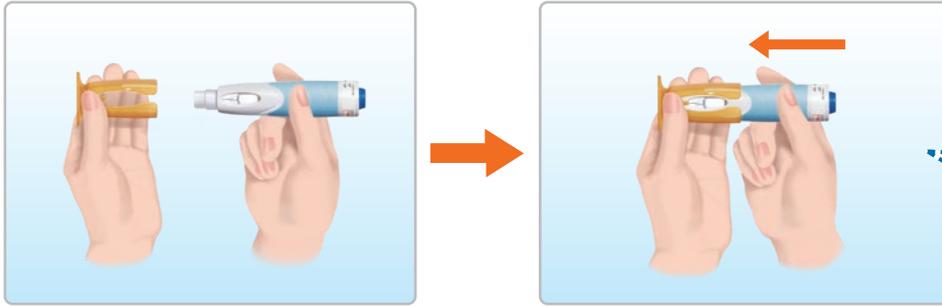
●オートインジェクター本体と補助具を一緒に握って注射部位から離すと、安全カバーが伸びないため、針が自動的に格納されません。

⑧補助具を取り外します。

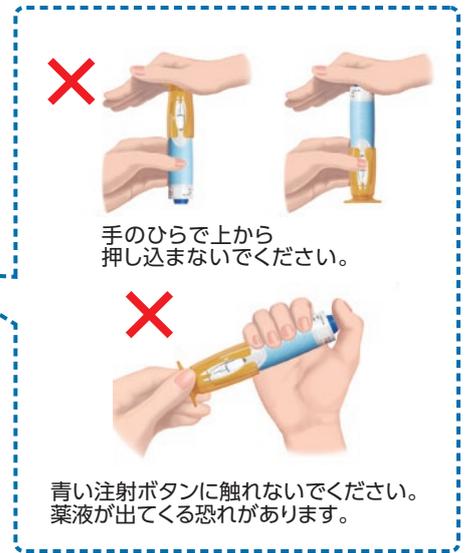


注射終了後、本体から補助具を平行に取り外してください。使い終わったオートインジェクターは、廃棄ケースまたは廃棄ボックスに入れて廃棄してください。

②オートインジェクターに補助具を取り付けます。



オートインジェクターと補助具を図のように横向きに持ちます。オートインジェクターの薬液確認窓と補助具の切り込みU字箇所を合わせて平行に取り付け、ストッパーが薬液確認窓に固定されていることを確認します。



⑤ 薬液を確認し、薬液を確認窓に本体を取り付けます。

⑤ 注射部位に補助具本体を直角に押し当て、青い注射ボタンのロックを解除します。



2段目の安全カバーが1段目に格納されるまで、しっかりと補助具を取り付けたオートインジェクター全体を押し当てると、青い注射ボタンのロックが解除されます。

- オートインジェクターの押し当てが不十分で2段目の安全カバーが格納されていない場合、ロックが解除されず青い注射ボタンは押せません。ロックが解除されていない状態で青い注射ボタンを押すと液漏れをおこすことがありますので、無理に押さないでください。

⑥ 注射します。

15秒経ったら、紺色部分の動きが止まっていることを確認してください。



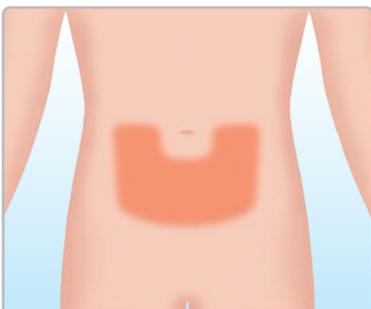
オートインジェクターのロック解除後、青い注射ボタンをカチッと音がするまで押します。自動的に注射が始まり、薬液確認窓内の紺色部分が動き出します。

薬液がすべて入りきるまで、15秒間は補助具の皮膚接触面を注射部位に当てたままにしてください。

注射する場所 (部位)

注射する場所は、腹部(おなか)、大腿部(太もも)です。

腹部(おなか)



大腿部(太もも)



- ※へその周り5cm程度は避けて注射してください。
- ※ご家族の方が注射される場合は、上腕部(二の腕)に注射することもできます。

⚠ 注意

皮下脂肪が少ない(やせた)方の場合、腹部(おなか)や大腿部(太もも)などの皮膚がつまみやすい場所に注射してください。その際、つまんだ指に針が刺さらないよう注意してください。

注射部位については、医師や看護師にご相談ください。

注射が終わったら、オレンシア®・ノートの「体調チェックシート」に記録を付けてください。



体調チェックシートは、体調の自己管理だけでなく、主治医や看護師にとっても参考になります。診察時にお持ちください。

体調チェックシート

関節の症状とVASによる体調の評価

VAS (Visual Analog Scale) 0 (全くない) 10 (最も悪い)

関節の症状 (VAS) による体調の評価

関節の症状 (VAS) による体調の評価

関節の症状 (VAS) による体調の評価

体調チェックシートには、次のことを記録してください。

- 注射した日付
- 注射した日の体温
- 注射した場所 (おなか、太ももなど)
- 注射前後の体調

⚠ 注意

咳、鼻水、のどの痛み、発熱など風邪のような症状がみられたり、いつもと違う体調の変化を感じた場合には、ご自分で判断せず、すぐに主治医にご連絡ください。

注射のしかたについてお困りのことがありましたら、下記フリーダイヤルまでご連絡ください。

オレンシアサポートセンター

0120-13-3779

(24時間対応・通話無料)

医療機関名・連絡先